

令和2年3月8日

石川県弓道連盟 加盟団体会員各位

石川県弓道連盟 会長 水橋 美喜夫

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う県連事業の対応方針について

(緊急連絡:第2弾)

標記の件について、下記の通り追加の連絡をいたしますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

前回(2/28)は、首相の「ここ1～2週間が正念場である」という言葉を受けて、3月15日まではあらゆる大会や会議等の中止をお願いしたところであります。

その後、感染症自体の沈静化傾向がみられていないことや、政府の「もう少し様子を見ざるを得ない」という発言を受け、今後の県連事業については下記の通りといたします。

- (1) 3月22日予定の県**春季弓道遠的大会は中止**する。
- (2) 当日の国体選手選考会は、感染症予防策を十分にとることを条件に実施を認める。
- (3) 4月開催予定の県連**定期審査会**については、直前までの感染症の社会状況を見極めたうえで**3月末頃には実施の可否を判断して連絡**する。
- (4) 3月中に予定していた、**常任理事会、理事会、評議員会については、会議の開催ではなく事前に関係者に資料を送付して、その内容について郵便で承認の有無を問うこととします。**

当然、意見があれば返信ハガキ等に記載していただき、あるいは理事長あてへのメール連絡でも受けることといたします。

以上について、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、一般的な注意となりますが、ウィルスに感染していても発熱がなく、軽症である比較的若い年齢の方から、他者に感染させるケースがあるという専門家の指摘があります。

よって、政府等が求めている3月中はとりわけ慎重な対応をとることとしました。

過剰な自粛について批判の声もたくさん聞こえてきますが、一方で万が一のケースを無視することもできません。すでに石川県でも6名の感染者が発生していること、また現代社会は一日の行動圏が非常に広くて、北海道や東京などは日帰りが可能なことも考えると、県域だけで考えるわけにはいかなくなっています。

手洗い(消毒含む)、マスク、うがい、体温測定、十分な換気、濃厚接触する場を離れる、控室等で大笑いをして唾を飛ばさない、帰宅時には着衣にある菌等を払う、不特定多数が触れる箇所(ドアノブ、手すり、バス車内等)はなるべく手で触れない、現金(小銭等)を握りしめない、等々キリがありませんが、行政や報道等の注意を常に意識して十分な注意をお願いします。今後とも日々刻々と変動するウィルス対策のため、そのつど必要に応じて連絡をさせていただきます。

以上